

# 電 波 時 計

## (置時計)

### もくじ

|                             |               |               |
|-----------------------------|---------------|---------------|
| 1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください | 2             |               |
| 2. 電波時計について                 | 3             |               |
| ■ 電波時計とは                    | ■ 標準電波とは      | ■ 電波の受信範囲について |
| ■ 標準電波の送信停止について             | ■ 海外でのご使用について |               |
| 電波を受信しにくい環境                 |               |               |
| 3. 各部の名称と役割                 | 4             |               |
| 設置について                      | 5             |               |
| 外観について                      | 5             |               |
| 静電気による誤作動について               | 5             |               |
| 4. ご使用方法                    | 6             |               |
| 電波受信の流れ(受信表示ランプの見かた)        |               |               |
| 5. 標準電波を受信できない場合            | 7             |               |
| 手動での時刻合わせ                   |               |               |
| 6. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作      | 8             |               |
| 7. 電池の交換について                | 9             |               |
| ■ 電池の種類について                 | ■ 電池の寿命について   |               |
| 8. お手入れについて                 | 10            |               |
| 9. 電池・製品の廃棄について             | 10            |               |
| 10. おもな製品仕様                 | 11            |               |
| 11. アフターサービスについて            | 12            |               |
| お問い合わせ先                     |               |               |


付属品 お試し用電池 2個、保証書 1枚、取扱説明書 本書


# 1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


- 図記号の説明 ○ 禁止(してはいけないこと)を示しています。  
● 指示する行為を必ず守ることを示しています。

## **警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

 **必ず守る** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。


 **禁止** 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る


- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。


 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない


- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。


## **注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容


 **禁止** 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
さびや故障の原因になります。

 **ぬれた手で触らない**  
さびや故障の原因になります。

 **分解や改造をしない**  
けがや故障の原因になります。

 **禁止** シンナーやベンゼン、アルコールなどの有機溶剤または有機溶剤を含むスプレーを付けない  
溶解、変色、表面のくもりなどの原因になります。

 **禁止** 下記のような場所では使わない。  
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 2. 電波時計について

### 電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(<http://jjy.nict.go.jp>)

### 標準電波の送信停止について

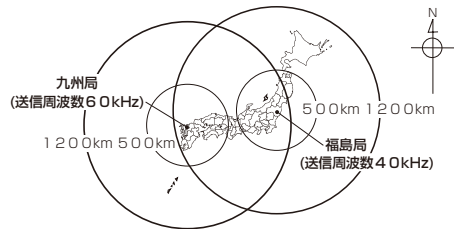
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

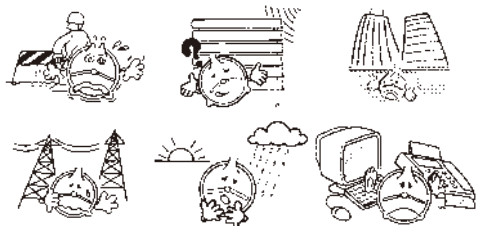


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

### 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

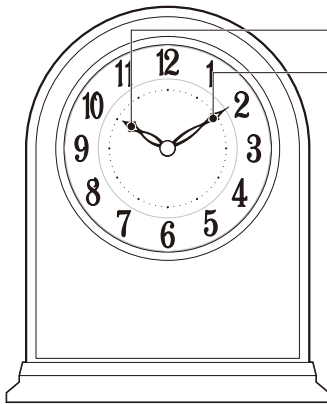
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下、ビルの谷間、ビルの中など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



### 3. 各部の名称と役割

●図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



時針(短い針)

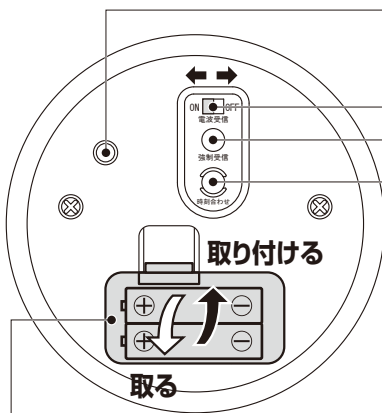
分針(長い針)

#### 通常の針の動きについて

時針、分針: 10秒単位に動く

自動受信で時刻を修正するときには、早送りや一時停止することがあります。

(裏面操作部)



#### ④受信表示ランプ

受信の状態や受信結果を点灯、点滅、消灯でお知らせします。

#### ①電波受信スイッチ

O N:電波を受信して時刻を修正。

OFF:電波を受信しません。

#### ③強制受信

電池を入れたとき、場所を移動したときなどに押します。

#### 時刻合わせ

受信できないときなど、手動で時刻合わせをするときに使います。**不用意に押すと時刻が変わります。**

#### ②電池ふた

電池ふたを取り外し、単4形アルカリ乾電池2個を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れ、電池ふたを取り付けてください。

**⚠ 注意** 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

### 設置について

時計の転倒や落下を防ぐために、水平で振動が少ない安定した所に置いてください。

- 大理石を使用しているものは、重量がありますので設置するところに注意してください。
- 暖炉やストーブなどの近くに置くと、熱の影響により変形や変色するおそれがありますので、離して設置してください。
- 日光に直接当たらない所に設置してください。紫外線や熱により退色の進行が早まります。

### 外観について

木や大理石などの天然素材を使用しているものは、木目や大理石の模様、色合いなどが個々の商品ごとに異なることがあります。

### 静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

## 4. ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**（手動での時刻合わせ）**（P.7）を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- 1 電波受信スイッチをONにする
- 2 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単4形アルカリ乾電池を入れる
- 3 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが点灯して受信を開始します。このとき針は止まったままですが、故障ではありません。受信が終わると早送りで移動を開始します。

※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

※受信中はボタン操作をしないでください。

### 4 15分経過したら受信結果を確認する

受信表示ランプ 2秒に1回点滅:受信成功

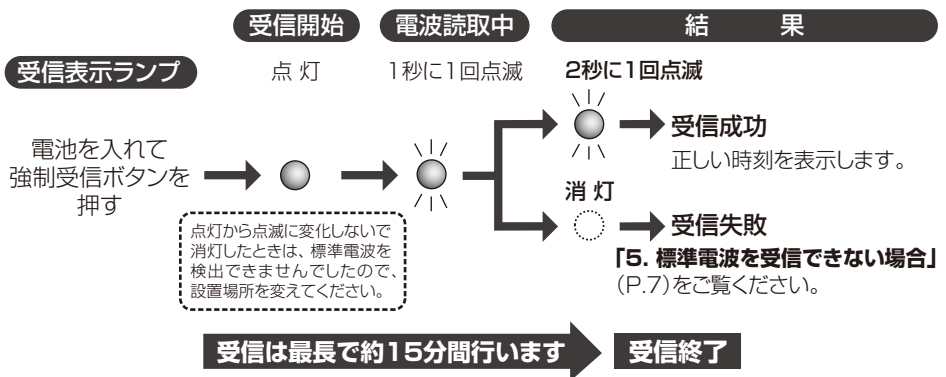
消灯:受信失敗

受信に失敗したときは、「5. 標準電波を受信できない場合」(P.7)を参照。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

### 電波受信の流れ(受信表示ランプの見かた)



## 5. 標準電波を受信できない場合

---

### ●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

### ●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

### ●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。

電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

### 手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

「6. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作」(P. 8)を参照してください。

#### 操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押して続けると早送りで動きます。

※秒は、時刻合わせボタンを離れたとき、ゼロ秒に設定されます。

## 6. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

---

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

○ N:定期的に標準電波の受信を試み、受信に成功すると時刻を修正します。

OFF:標準電波の受信を行いません。時刻は手動で合わせてください。

○電波受信スイッチをOFFにして強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプが約3分点灯後消灯してから針が動き出します。必要に応じて、手動で時刻を合わせてください。

○電波受信スイッチをONにしたときには、必ず強制受信ボタンを押してください。

○受信表示ランプが2秒に1回点滅しているときに、電波受信スイッチをOFFにしても、最長で24～25時間点滅し続けることがあります。



## 7. 電池の交換について

こんなときには電池の交換が必要です

- 時計が停止したとき。
- 時計の進み／遅れが大きいとき。
- 針が不規則な動きをするとき。
- 電池を交換してから1年を経過したとき。



電池からの液漏れにより、時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。

※電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。



### ■ 電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

### ■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

## 8. お手入れについて

---

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 大理石を使用しているものは、ジュースなどの酸性液が付着すると損傷を与えます。付着したときは、からぶきしてよく落としてください。

※木材など天然素材のものは、経年変化により色合いが変化することがあります。

## 9. 電池・製品の廃棄について

---

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 廃棄するときは電池と本体を分別してください。

## 10. おもな製品仕様

|             |  |
|-------------|--|
| 時間精度        | 標準電波受信成功直後の表示精度<br>時針／分針 目盛りに対して±3度<br>標準電波を受信しないとき<br>平均月差±20秒 温度が5～35℃のときのクォーツ精度 |
| 使用温度範囲      | -10～50℃ *結露しないこと   |
| 使用電池        | 単4形アルカリ乾電池 1.5V JIS規格 LRO3 2個  |
| 電池寿命        | 約1年  |
| 標準電波        | 標準電波を受信して時刻を修正   |
| 受信局         | 福島局/九州局 自動選択   |
| 受信回数        | 最少 1回/日、 最多 12回/日 *受信状態により変化   |
| 受信機能 ON/OFF | スライドスイッチ   |
| 手動時刻合わせ     | ボタン操作  |
| 防滴 防塵       | なし   |

### 自動受信について

受信状態により受信回数や受信開始時刻が変わります。

|   |  |
|---|--|
| 受信成功から72時間以内の場合   | 最少 1回/日、 最多 3回/日<br>AM 2:16:40、AM 3:16:40、AM 4:16:40 |
| 連続72時間以上受信に失敗している場合<br>初めから受信に失敗している場合<br>手動で時刻合わせをした場合 | 12回/日 奇数時の16分40秒<br>例 AM 1:16:40、AM 3:16:40など        |

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

# 11. アフターサービスについて

この製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

## ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきますことがあります。

## ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

## お問い合わせ先

ご使用方法やアフターサービスについてのご相談は、お客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、時計裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4RY○○○

(フリーダイヤル)

**お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

製造  
発売元

**リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

R203-HXXZ

(Y1604)